

# 外部評価結果の公表シート

整理番号	事業名
25	健康増進センター事業費

所管部局
保健福祉部健康増進課

※( )の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(3) 妥当でない(2)	○ニーズを吸い上げるアンケート等の実施が必要である。 ○市民の健康増進のための個別指導などについて、行政の役割は終了したのではないかと。 ○税金を投入してまで行う意義や必要性が見いだせない。 ○開設当時と比較すると、民間スポーツジムもたくさんあるので、民間とは異なる役割を考えてみるべき。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当	妥当(3) 妥当でない(2)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(2) 妥当でない(3)	○健康増進の成果を示す必要がある。 ○利用者増のための広報やアリーナのように高校生も利用できるようにするなど、ほかの手段も検討できる余地はある。 ○事業内容が固定化しすぎている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	妥当(2) 妥当でない(3)	
コスト負担	コストの節減度	節減できている	妥当(2) 妥当でない(3)	○健康格差が経済格差から生じていると考えられないこともないが、見直しはするべきである。 ○利用に所得制限を設けることは難しいが、運動教室や団体使用料金の見直しや、料金体系を時間区分ではなく1時間単位にするなど、まだ工夫はできると思う。 ○受益者負担適正化のため、使用料見直しについて検討する余地がある。
	将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性がある	妥当(3) 妥当でない(2)	
	受益者負担の適正度	適正である	妥当(2) 妥当でない(3)	
執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	妥当(3) 妥当でない(2)	○委託方法について、指定管理も含め、現時点では難しいことでも可能性を探る努力をしなければならない。 ○完全外部委託によるアリーナとの連携強化を図ったほうが良い。
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	妥当(2) 妥当でない(3)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
現行どおり (0) 改善(5) 当面現状維持(0) 廃止(0)	○経費の節減だけでは、せっかく利用者増の傾向にあるものにブレーキがかかる恐れがある。設備の更新を控える中、運動教室の充実や受益者負担の見直しなど本施設の特徴を再構築し、一般財源からの持ち出しが少なくなるように改善をしていかなければならない。 ○健康づくりは大切であるが、時代のニーズに合わせて、もう少し役割を考えるべき。 ○センターの存在意義をしっかりと示す定量的裏付けが必要である。 ○委託料および維持コストの増加に備えて、使用料の見直し計画を早急に策定する必要がある。
外部評価委員会としての提言 改善	

